

研究内容の開示

東京歯科大学市川総合病院の倫理審査委員会が審査を行って承認し、同病院長が実施を許可した下記の研究について、研究の対象者に該当する可能性があって、診療の情報等を研究の目的で利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。なお、ご協力いただけても患者さんに不利益は生じません。また、ご協力いただきましても謝礼はございません。

研究課題名	腰部脊柱管狭窄症の病態解明 (倫理審査委員会承認番号： I 2521-2507)
研究責任者	整形外科 青山龍馬
本研究の目的 と意義	本研究は、当院で多数の腰部脊柱管狭窄症患者を診療・手術してきた豊富な臨床経験とデータを基に、その発症機序や進行メカニズムを解明し、病態の早期診断法および効果的な治療戦略の確立を目的としています。得られた知見は、新たな診断基準や治療戦略の策定に活用され、患者さんの疼痛軽減や運動機能の維持・改善、ひいては生活の質（QOL）の向上に大きく寄与することが期待されます。
研究の対象になる患者さん	2005 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの間に、当院の整形外科を受診し、腰部脊柱管狭窄症と診断された患者さんのうち、当院で腰椎手術を受けた患者さんが対象となります。
研究の方法	・対象になる患者さんのカルテを拝見します。 ・当院のカルテに記録された診療・手術データを包括的に収集・解析し、レントゲン、MRI、CT による画像評価を定量的に行います。さらに、患者さんの症状や生活の質（QOL）に関するデータを取得・統合的に解析します。
研究を行う期間	この研究の実施が認められてから 2035 年 12 月 31 日までです。
個人情報取り扱い	患者さん個人を特定できる診察券番号、氏名、生年月日は削除して、研究用の番号に変えて取り扱いをします（仮名加工情報といいます）。なお、患者さん個人を特定できる診察券番号、氏名、生年月日と研究用の番号を照合するための対照表を別に作成して、施錠可能な場所で厳重に保管します。
研究データの保管	2035 年 12 月までパスワードをかけた USB で院内の施錠可能な場所に保管します。本研究終了後 5 年後に、復元不可能な形でデータ削除を行います。
本研究の資金源	整形外科の研究費で行います。
企業などとの関係	この研究に企業や営利団体は関わっていません。

お問い合わせ先	この研究に協力したくない場合や、研究についてさらにお知りになりたい場合は下記にご連絡ください。 東京歯科大学市川総合病院整形外科 青山龍馬 047-322-0151 代表
備考	診療の情報等を研究の目的で利用されることを希望されないとお申し出いただいた場合に、ご留意いただきたいことがあります。研究がある程度進んで解析をはじめてから、特定の患者さんの情報を除くことができないことがあります。その点についてあらかじめご承知ください。

以上